

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	龍ヶ崎市こども発達センターつぼみ園		
○保護者評価実施期間	令和6年9月30日		～ 令和6年11月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	105	(回答者数) 48
○従業者評価実施期間	令和6年9月30日		～ 令和6年11月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 13
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 1月17日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<p><環境・体制整備> ・療育空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっている。</p>	療育効果を高めるため、刺激を少なくなるよう室内の整理整頓を常に心がけている。また、安心して過ごせるよう落ち着ける場所を確保している。	常に施設内の清潔、遊具等の整理整頓を心がける。
2	<p><関係機関や保護者との連携> 地域の保健、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携し、支援を行う体制を整えている。</p>	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。また、就学時の移行の際には、教育委員会や小学校との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。	切れ目ない支援の充実を図るため、家族支援、本人支援のきめ細やかな対応を心がける。
3	<p><関係機関や保護者との連携> 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っている。</p>	保護者の意見に耳を傾け、保護者支援の充実を図っている。(講演会の開催や親の会の開催等の協力等)	保護者の意見や要望を聞きやすい環境の工夫をする。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所契約者数が多く、必要な療育支援回数を確保することが困難になっている。	幼児だけでなく就学後の児童の利用者が多い。	教育センターや小学校と連携を図り、子どもを取り巻く環境を整えられるよう共通理解を図っていきたい。
2	第三者による外部評価を行っておらず、評価結果からの業務改善ができていない。	市の障がい福祉課や自立支援協議会での運営状況等は報告しているが、第三者による外部評価は行っていない。	市の障がい福祉課や自立支援協議会において相談し検討していく。
3			